

平成28年深谷市教育委員会第9回定例会会議録

深谷市教育委員会

平成28年深谷市教育委員会第9回定例会

日 時	平成28年9月9日(金)		
	開 会 午後1時30分		
	閉 会 午後3時00分		
場 所	教育庁舎 3階 大会議室		
出席委員	教 育 長 教育長職務代理者 委 員 委 員 委 員	小 柳 光 春 井 上 美佐子 清 水 巖 子 橋 本 幾 子 岡 部 登	
出席職員	教 育 部 長 次長兼学校教育課長 次 長 教育総務課長 教育施設課長 生涯学習スポーツ 振 興 課 長 文化振興課長 渋沢栄一記念館長 図 書 館 長 学校教育課課長 補佐兼指導主事 学校教育課課長 補佐兼指導主事 学校教育課課長 補佐兼指導主事 学校教育課課長 補佐兼指導主事	植 竹 敏 夫 新 井 英 男 吉 岡 和 弘 葦 塚 洋 明 吉 田 稔 真 岡 田 青 木 克 尚 坂 倉 茂 島 田 久 一 柴 崎 勇 二 染 谷 明 信 大 沢 裕 淺 野 貴 之	
書 記	教 育 総 務 課 課 長 補 佐	加 藤 昇	

- 1 開会
教育長が開会を宣告
- 2 前回議事録の承認
第8回定例会の会議録を全員異議なく承認
- 3 会議録署名委員の指名
教育長が橋本委員を指名
- 4 会議の概要
 - (1) 会議
 - ① 報告1 平成28年度子ども議会について
教育部長より説明
 - ② 報告2 深谷市教育委員会後援に関する事務取扱要綱に基づく承認について
教育総務課長より説明
 - ③ 報告3 小・中学校及び幼稚園における放射線量測定結果について
教育施設課長より説明
 - ④ 報告4 平成28年度「英語王国」について
次長兼学校教育課長より説明
 - ⑤ 報告5 平成28年度「こころざし深谷科学塾」について
次長兼学校教育課長より説明
 - ⑥ 報告6 平成28年度全国学力・学習状況調査の結果について
次長兼学校教育課長より説明
 - ⑦ 報告7 平成28年度深谷市夏季休業中の研修について
次長兼学校教育課長より説明
 - ⑧ 報告8 平成28年8月深谷市立小・中学校教員等の発令について【非公開】
次長兼学校教育課長より説明
 - ⑨ 報告9 岡部公民館の建設について
生涯学習スポーツ振興課長より説明
 - ⑩ 議案第27号 ふかやこども園のモデル園における3歳児の受入れについて
次長兼学校教育課長より説明
 - ⑪ 議案第28号 ふかやこども園のモデル園における一時預かり事業について
次長兼学校教育課長より説明
 - ⑫ 議案第29号 深谷市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則
次長兼学校教育課長より説明
 - ⑬ 議案第30号 教育財産の用途の廃止について
教育施設課長より説明
 - ⑭ 議案第31号 学校運営協議会を設置する学校の指定について
次長兼学校教育課長より説明
 - ⑮ 議案第32号 学校運営協議会委員の任命について【非公開】
次長兼学校教育課長より説明

① 報告1 平成28年度子ども議会について

教 育 長 事務局より説明を求めます。
教 育 部 長 (概要を説明)
教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。
(質疑なし)

② 報告2 深谷市教育委員会後援に関する事務取扱要綱に基づく承認について

教 育 長 事務局より説明を求めます。
教育総務課長 (概要を説明)
教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。
(質疑なし)

③ 報告3 小・中学校及び幼稚園における放射線量測定結果について

教 育 長 事務局より説明を求めます。
教育施設課長 (概要を説明)
教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。
(質疑なし)

④ 報告4 平成28年度「英語王国」について

教 育 長 事務局より説明を求めます。
次長兼学校教育課長 (概要を説明)
教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。
(質疑なし)

⑤ 報告5 平成28年度「こころざし深谷科学塾」について

教 育 長 事務局より説明を求めます。
次長兼学校教育課長 (概要を説明)
教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。
上武大橋見学はいつ頃を予定していますか。
浅野指導主事 11月19日の午前中を予定しています。
橋本委員 せっかく応募をした56名のうち、参加できなかった子ども達は、次回は参加できるなどありますか。あと、この定員になった理由はありますか。
次長兼学校教育課長 やりたい子どもは全員を連れて行きたいという気持ちがありますが、バスの定員の関係で乗れませんでした。
浅野指導主事 バスの定員が40名となっていて、指導者を入れると39名が限界となっていますので、応募者から選ぶことになりました。次回の11月19日に行うものにつきまし

ては、もし欠席者が出た場合には、漏れた子ども達に声をかけていきたいと思えます。

⑥ 報告6 平成28年度全国学力・学習状況調査の結果について

教 育 長 事務局より説明を求めます。

次長兼学校教育課長 (概要を説明)

教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。

井上教育長職務代理者 4点お願いします。1ページ目ですが、平成27年度は急激に下がりましたが、これはどんな原因によるものかを各学校で明確に把握して今年度に臨んでいたのでしょうか。

2点目は、6ページの「子どもたちの生活の様子」ですが、深谷市は国や県よりもすべて数値が良いのですが、「学習習慣について」の3つ目「家で、学校の授業の予習をしている」の数値が非常に低いです。小学校で60、中学校はもっと低く48.2です。予習をすることで自分が分からない部分を把握して授業に臨む方が、学習意欲が高まり、学びへの姿勢が良くなると思えます。この数値が低いという点を、どのように捉えていますか。

3点目の8ページの「仲間と学びあう活動を取り入れる」というところも、国や県と比較すると深谷市の数値が良いといえども低いです。小6算数の「調査結果から見える授業改善のポイント」の指導改善のポイントのなかに「どうしてそうなるの?と発問し」とあります。これはすごく大事なことだと思います。学校訪問をした結果、各学校で、ベーシックをもとに、このような発問が出るような授業が見られるようになったのでしょうか。それが「仲間と学びあう活動を取り入れる」の数値を上げることになってくるのではないかと思います。

それともう1つ気なるのが、14ページの「深谷市の学力向上」を見ると、学校側が親切すぎるのが、子どもの学習意欲を削いでいるような気がしています。あまりにも学校に用意されているものが多くて、子どもはただそれをやればいいという状況になっていると、子どもの学習意欲を高めることに繋がらないのではないのでしょうか。「家庭学習の支援」のところで、「プリントボックスの普及」「家庭学習応援サイトの活用」「家庭学習プリントの共有」というものが学校で用意されているわけですね。それをもって学習するよりも、予習のやり方などの学習の方法論を教えた方が、学習意欲や自ら考える力が高まるのではないかと思います。その辺はどのように考えていますか。

教 育 長 4つありました。1つは、27年度の状況を踏まえ、どういう形で学校自身で今年度を迎えてやっていたのか。

2つ目が、6ページの予習のところですね。もう少しこのところ大事にやってはどうか。

そして、8ページの仲間と学び合いのところ、授業展開の様子が変わってきているのかどうか。

4つ目が、色々な準備をすることが子どもの意欲に火を付けることになるのか、それとも親切すぎてしまうのではないか。学び方を学ぶようにした方が良いのではないか。

その4つについて順次お願いします。

次長兼学校教育課長

まず1点目ですが、昨年度の結果について各学校でどの部分が弱いのか分析してもらいまして、その後、具体的にどんなことを実践していくのかという方策についても考えて、やっていただいています。市の方でも共通的にできるようにスタンダードなどを用意しまして、その形で目標を明確にして授業を進めてくださいとやってきました。各学校では市のものを活かしながら、さらにアレンジを加えて充実させたもので授業に真剣に取り組んできたと考えています。

2点目の予習ですが、井上委員のおっしゃるとおり、予習によって自分の弱点が分かるという良さがあると思います。数値については、小学校の場合、復習のほうがやりやすいというところがありますので、予習よりも復習の方に時間を費やしているのだと思います。ただ、予習をしてこれから学ぶことについて見通しを持つことも大事だと思います。学校の方でも、その辺のところは予習と復習ということで取り組んでいます。特に中学校の方が予習に取り組んでいる実感があります。小学校においても、予習面も含めてどのようにやっていったらよいか考えていきたいと思っています。

3点目の仲間と学び合う活動ですが、これにつきましては、今でもアクティブラーニングと言われていますが、友達と根拠などを話し合う授業は増えていると思います。それが、先ほど申しました上位層を伸ばすことにも繋がってくると思いますので、いま学校が取り組んでいることを、これからも引き続き、どういう形が良いか考えながらやっていってもらえばよいかと思います。

4点目ですが、親切すぎるということにつきまして、プリントボックスは、学校に置いておいて自分で選んで持っていく場合と、教師が与える場合とでは少し違うと思いますが、教師の方で与えた問題だけというよりは、委員さんのおっしゃるとおり、自分で考えてやるということも大事なかなと思います。授業でよくヒントカードを出すのですが、あまりヒントばかり与えてしまうと考えないで出来てしまうということがあります。自分で考える時間を持たせることが大事なので、授業でもなんでも道筋をつけすぎてしまうと力が付いてこないということがありますので、そういうことも含めて、子ど

も達に課題や壁を与える意味でも、親切すぎないということも大事かなと思います。一方で、基礎力が無い子には、段階に応じて与えなければならないものがありますので、子ども達はそれぞれ違いますから、その子の状態に応じて対応することも必要だと思います。

井上教育長職務代理者

今後はアクティブラーニングの授業方法に変わっていくと思いますが、それをやると子どもに発言させたり、討論させたりといった部分に多くの時間を割くことになるわけですね。しかし、それは、やはり教師が教えるべき基礎基本の上に立った展開だと思いますので、そこをおさなりにした授業であったら放任授業と同じようなものになってしまいますから、教育委員会のほうでも、その辺をしっかりと助言、支援していただければ、ありがたいなと思います。

それから、中学になるほど予習が大事だと思います。ですから、小学校の高学年から、予習の意味と方法を教えることで、中学校に繋がると思います。自分で課題が見つけれないと伸びませんから、学年が上になればなるほどそういう予習方法をしっかりとやっていかないと学力向上に繋がらないかなと思いますので、その辺もしっかり押さえていただきたいと思います。

教 育 長

要望ということでよろしいでしょうか。上滑りにならないように、基礎基本を徹底した上でアクティブラーニングを行うということ。それから、中学生にとって予習がより大事だということですね。

橋 本 委 員

14ページの小学校にある「家庭学習への支援」の一環のプリントボックスについての私の見解ですが、私が関わった小学校で初めて見せていただいたときは、大人の感覚では面白いなと思いましたが、実際の状況を伺ったら、子ども達は好きなプリントが決まっていた、例えば算数で言えば百ます計算だけが無くなるとか、ちょっとステップアップしたものがあっても、そちらには手を出さないと聞きました。だから、子どもは必ずしも自分自身で次のステップにチャレンジするという方向には行ってないような気がします。最近の情報は知らないのですか、その辺はどうですか。

教 育 長

委員がおっしゃるには、子ども達は興味ある箇所だけ持っていき、色々仕組んでおいても、狙いどおりいっていない実態があるのではないかと、ということですが、どうでしょうか。

次長兼学校教育課長

チャレンジボックスも学校によってずいぶん違うので一概には言えないかもしれませんが、学校によっては、例えば、割算などの項目と番号が書いてあって番号順にやっていくことで段階を追っていくようなプリントボックスもあります。これを順番にやっていくことで、子ども達は自分の成長を確認できます。

ただ、プリントボックスがどういう風になっているかということがあります。自分の勉強の進め方が分からないと絵が載っていて楽しそうなものや、いつもやっていて簡単に終わられる百ます計算などをやって枚数を競ってしまっているということもあるのかなと思います。チャレンジボックスについても、活用方法も含めて、どのようなプリントボックスが良いのか、学校で考えていく必要があるのかなと思います。

橋本委員
教育長

ぜひ実態調査をお願いします。
用意しても、その活用の実態の見届けがなされていないと効果的でないということもありますので、よろしくをお願いします。

⑦ 報告7 平成28年度深谷市夏季休業中の研修について

教育長
次長兼学校教育課長
教育長
井上教育長職務代理者

事務局より説明を求めます。
(概要を説明)
本報告について、質疑はありませんか。

次長兼学校教育課長

10点ありますので、一つずつお願いします。最初の23, 24ページの幼稚園教諭の研修ですが、市内の幼稚園の先生方の共同研修会や情報交換会などは行われていますか。

教育長

ここには全体研修会を載せていますが、その他に、実際に幼稚園を使いまして、幼稚園と保育園の先生が集まって、幼稚園の保育を見てその後に研修を行うというものを、昨年度は3箇所で行っています。

井上教育長職務代理者

あと数年前から幼稚園と保育園で、相互乗り入れ研修を行っています。

柴崎指導主事

26ページですが、今年の初任者はどのような傾向が見られましたか。

井上教育長職務代理者

初任者の研修への取組ですが、非常に真面目に取り組み、そこで目的としているもの以上に掴もうという意欲が、感想や、研修の状況から読み取れました。一生懸命学んで、それを学校に持って帰って、自身あるいは学校のために役立てていこうという姿勢が見えました。

次長兼学校教育課長

初任者が様々な悩みを抱えていると思いますが、今の初任者は精神的な部分がかなり弱くなってきていると思いますが、その辺のフォローは各学校で行われていますか。

やはり、そういう精神的に弱い初任者が多くなってきましたので、4月の初めに県から学校に指導方法について文書がきます。学校のほうでは初任者を迎えるにあたって、直接指導していく教員や管理職など様々な立場の者が、初任者への対応・指導に関して、気持ちを理解していこうとか、指導する場合の注意点などの話をして、共通理解をもってやっています。

井上教育長職務代理者 28 ページですが、先ほど次長が説明でおっしゃったとおり、「問題にどのようなメッセージが込められているか」というような感想が出ているかと思いますが、それがしっかり捉えられることが大事だと思います。それが、研修者だけではなく、教育現場でもそういう方向性が見られるようになっていきますか。

次長兼学校教育課長 研修に参加したのは36名ですが、この人達が学校に帰って、研修の内容を、全国学力・学習状況調査の問題を使ってやったりしたのですが、それを学校のなかで広めていくという形でやってもらっています。

井上教育長職務代理者 30 ページです。参加者の主な感想のところで「結論から問題を考えていくことで学習内容が明確になり」とありますが、理科は単元導入のやり方次第で、子ども達に様々な疑問が出てくると思います。そういう単元導入の研究というよりは、今はこのような研修が多いのでしょうか。

浅野指導主事 委員のおっしゃるとおり、単元導入は非常に重要ですが、その単元導入の後に、どのような授業を展開していくのか考えると、子ども達にも教員にも明確な問題・課題が必要になってきます。その問題・課題を子ども達に分かりやすいように立てることができるようにするため、まず、その授業で一番最後に何を教えたいのかというところから、その問題を考えていきましょう、そして、その後に導入を考えていきましょうという手順で、今回の研修を行わせていただきました。

井上教育長職務代理者 私達から見ると、構成する段階で教師が手助けをされていて、最終的な結論を予想するという手順も面白いのではないかと思いますので、質問させていただきました。

32 ページの小学校外国語指導法集中研修会です。前回の定例会時にもお話したかと思いますが、授業の活動案を作成して、どういう展開をしていくのかということは、非常に勉強になったと思います。

ただ、今後、活動案よりも、きちんと発音できる教師をどのように育てていこうと考えていらっしゃるのか。専門的な方を配置することは、予算的には出来ないということですね。ですから、今、育っていく先生方が発音に習熟して授業をしていかないと、いくら授業が成立したとしても、本来の話せる英語という点ではどうなのかなと思います。読み書きそろばんがきちっと出来ない子たち、日本語の文章がきちっと書けない子たち、それが果たしてどうなのかということにもつながっていくと思います。

教 育 長 井上職務代理者の質問は、外国語活動として楽しくやっているけれども、数年後教科化が始まるわけですが、そういう4技能なんかを押さえていかなければいけないが指導者がいない、その辺をどう考えていくかということですね。

- 大沢指導主事 今、教科化に向けて外国語活動の準備を進めています。中学校の免許を持っている小学校教諭も市内に結構いらっしゃいます。そういった人たちが各学校で中心となって指導を進められるような環境を整えていこうというところで、外国語の指導主事の中で準備を進めています。
- 発音等に関しては、難しい部分があるかと思いますが、まずは興味を失わせないことが一番大切ですので、もちろん発音に関しては教員同士の研修の中で力を高めていくしかないのかなと思っています。まずは、子ども達の指導に関して、先を見て自分から進んで学習に取り組んでいけるようにしていきたいと思っています。
- 教 育 長 中途半端な指導に陥らないように、教育委員会でしっかり制度的なことを考えながらやっていかなければならないということですね。
- 井上教育長職務代理者 そうですね、20年までそんなに時間がないので、計画的にやっていただけるとよいと思います。
- 次長兼学校教育課長
井上教育長職務代理者 続いて34ページですが、教育相談の中級取得者は何人いますか。
- 深谷市では、毎年9名が研修を受けて取得しています。
- 41ページの道徳教育研修会です。参加者の感想のところに「評価の仕方やそれに伴う授業展開の変化について、研修を受けて良かった」とありますが、今、藤沢小学校で一生懸命やられていると思いますが、この道徳の評価について掘り下げられていない部分もあると思いますが、その辺りの研修計画は進んでいるのでしょうか。
- 教 育 長 藤沢小学校が指定を受けて道徳教育の研究をしていますが、来年道徳の教科書採択が始まり、そういう変革が始まるわけですので、こういった状況になっているかということですね。
- 井上教育長職務代理者 あと、内面的な資質に働きかけるというところがありますが、その辺の準備状況もお願いします。
- 次長兼学校教育課長 藤沢小学校は県の委託を受けて研究をしているところですが、今、県の方でも評価資料を作成しているところもありますので、県の動向も視野に入れながら、担当指導主事の方で資料を集めて準備を進めています。
- 井上教育長職務代理者 2年度の研修の充実が一番大事と以前から申していますが、その辺りはどうなっているのでしょうか。
- 染谷指導主事 今年度は、2年次の先生方に授業スタンダード、授業ベーシックを使った授業プランを作成してもらい、授業の実践を進めてもらいました。44ページです。
- 教 育 長 初任者で2年目の教員をしっかりフォローしていくということですね。

井上教育長職務代理者 46ページの管理職登載者研修ですが、学校教育目標の実現のために学校経営があるわけで、そのなかに人材育成、教材の関係、それから財務・予算関係があります。これらは、管理職となっていくのに一番大事な要素ですが、そういった要素を意識した管理職が育っているのでしょうか。

次長兼学校教育課長 この研修に参加している管理職は、すぐに現場にでて実践していかなければいけないという立場の人達が集まっていますので、今お話がありましたように、現場にでたらすぐに人材育成やお金の関係も対応できるようにしていきたいと思います。今年度からは研修のやり方を少し変えました。グループで討議しまして、そのグループのなかで話し合ったことを皆で理解を図っていくという形にしました。先ほどの自分から表現するという話もありましたが、そういうことをしたりしながら管理職としての構えを作っていけるような研修にしていきたいと思っています。

井上教育長職務代理者 予算がどれくらい学校についていて、それをどう使っていくと学校が教育目標を実現できるのか意識して学校経営をしていかなければならないけれども、その辺が凄く弱いと思います。人材育成も同じですが、教科面を伸ばそうとする意識はあると思いますが、それ以外のところもやっていかないと経営ということはできないと思います。その辺りもよろしくお願いします。

教 育 長 人・物・金のマネジメントをしっかりと研修でやっているかということですが、どうでしょうか。

次長兼学校教育課長 お金についてはどうしても弱い面です。このなかでもお金の話はなかなか出てこないところですので、その点も少し考えていきたいと思います。

井上教育長職務代理者 重点的にやっていただきたいと思います。予算があつてこそ人材が育ち、学校の安全が守れるということを意識付けしていく必要があると思います。事務の方との連携が薄くなって、判子を押すだけになってしまつては、校長としての意識が低いと思います。

岡 部 委 員 33ページの中学校英語指導研究ですが、英語というのは小学校から勉強することも大事だと思いますが、やはり中学校の時期が一番大事だと思います。アクティブラーニングなども取り入れて、良い方向へいっているということですが、英語検定3級など取得実績など、数字的にはどのような実績がありますか。

教 育 長 文部科学省の目標が、中学校卒業までに半数が英検3級を目指すなど、色々ありますが、深谷市の実態は掴んでいますか。

大沢指導主事 深谷市のほうで、昨年度から英検 IBA という、英検の相当する級を確認するテストをやっています。昨年の英検 3 級相当は、50%を超える数値となっています。

教 育 長 去年は、59.3%ですね。

⑧ 報告 8 平成 28 年 8 月深谷市立小・中学校教員等の発令について【非公開】
【非公開案件につき内容は省略】

⑨ 報告 9 岡部公民館の建設について

教 育 長 事務局より説明を求めます。

生涯学習スポーツ (概要を説明)

振 興 課 長

教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。
(質疑なし)

⑩ 議案第 27 号 ふかやこども園のモデル園における 3 歳児の受入れについて

教 育 長 事務局より説明を求めます。

次長兼学校教育課長 ふかやこども園のモデル園の取組として、深谷市立おかべ幼稚園において 3 歳児を受け入れたいので、この案を提出するものであります。

教 育 長 本議案について、質疑はありませんか。
(質疑なし)

本議案について、討論はありませんか。
(討論なし)

本議案について、採決をいたします。
本議案を原案のとおり決することに賛成のかたは挙手をお願いします。
(全員賛成)

本議案は、原案のとおり可決、確定いたしました。

⑪ 議案第 28 号 ふかやこども園のモデル園における一時預かり事業について

教 育 長 事務局より説明を求めます。

次長兼学校教育課長 ふかやこども園のモデル園の取組として、深谷市立おかべ幼稚園において一時預かり事業を行いたいので、この案を提出するものであります。

教 育 長 本議案について、質疑はありませんか。
(質疑なし)

本議案について、討論はありませんか。
(討論なし)

本議案について、採決をいたします。
本議案を原案のとおり決することに賛成のかたは挙手をお願いします。
(全員賛成)
本議案は、原案のとおり可決、確定いたしました。

⑫ 議案第29号 深谷市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則
教 育 長 事務局より説明を求めます。
次長兼学校教育課長 深谷市立おかべ幼稚園において3歳児を受け入れたいので、この案を提出するものであります。
教 育 長 本議案について、質疑はありませんか。
(質疑なし)
本議案について、討論はありませんか。
(討論なし)
本議案について、採決をいたします。
本議案を原案のとおり決することに賛成のかたは挙手をお願いします。
(全員賛成)
本議案は、原案のとおり可決、確定いたしました。

⑬ 議案第30号 教育財産の用途の廃止について
教 育 長 事務局より説明を求めます。
教育施設課長 深谷市立上柴東学童保育室の敷地として利用するため、深谷市立上柴東小学校の敷地の一部の用途を廃止したいので、この案を提出するものであります。
教 育 長 本議案について、質疑はありませんか。
(質疑なし)
本議案について、討論はありませんか。
(討論なし)
本議案について、採決をいたします。
本議案を原案のとおり決することに賛成のかたは挙手をお願いします。
(全員賛成)
本議案は、原案のとおり可決、確定いたしました。

⑭ 議案第31号 学校運営協議会を設置する学校の指定について
教 育 長 事務局より説明を求めます。
次長兼学校教育課長 学校運営協議会を設置する学校として深谷市立桜ヶ丘小学校、深谷市立八基小学校及び深谷市立上柴中学校を指定したいので、この案を提出するものであります。

教 育 長 本議案について、質疑はありませんか。
これで、29校のうち何校が指定になりましたか。
次長兼学校教育課長 この3校を入れて、29校中19校が指定されました。
教 育 長 本議案について、討論はありませんか。
(討論なし)
本議案について、採決をいたします。
本議案を原案のとおり決することに賛成のかたは挙手をお願いします。
(全員賛成)
本議案は、原案のとおり可決、確定いたしました。

- ⑮ 議案第32号 学校運営協議会委員の任命について【非公開】
【非公開案件につき内容は省略】

教 育 長 本日の議事はすべて終了いたしました。

次回第10回定例会は、10月11日(火)午後3時30分から開会です。

以上で、平成28年深谷市教育委員会第9回定例会を閉会します。